

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日	千葉 茂		〒144-8555 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身につけ、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電子工学コースでは、総務省による無線技術者養成の認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、無線通信技術者及び電子回路設計・製作のできるエンジニアの養成を目的としている。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電子・電気科 (電子工学コース/ オーディオ・家電コース)	2年(昼)	1710単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学大臣告示第153号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1350単位時間 (又は90単位)	単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	840単位時間 (又は28単位)	—単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280人の内数		97人	3人	3人	6人	
学期制度	■前期 ：4月1日～9月30日 ■後期 ：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 成績評価の基準 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定	
長期休み	■学年始め ： 4月1日 ■夏季 ： 7月21日～8月31日 ■冬季 ： 12月23日～翌年1月8日 ■春季 ： 3月18日～3月31日 ■学年末 ： 3月31日			卒業・進級条件	進級条件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること 卒業条件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること	

生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが、数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 若年者ものづくり競技大会 ■サークル活動 (有)・無)
主な就職先	■主な就職先、業界 (株)PFU、JFEスチール(株)、NECネットワークセンサ(株) ■就職率 97.4% ■卒業者に占める就職者の割合 92.7% ■その他 (任意)	主な資格・検定	家電製品エンジニア (生活家電、AV情報家電)、家電製品アドバイザー、デジタル技術検定、ラジオ・音響技能検定
中途退学の現状	■中途退学者 17名 ■中退率 4.8% 平成 24 年 4 月 1 日在学者 347 名 (平成 24 年 4 月入学者を含む) 平成 25 年 3 月 31 日在学者 330 名 (平成 25 年 3 月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査してカリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 8 月 27 日現在

名 前	所 属	任期
菊地 弘光	一般財団法人家電製品協会	平成 27 年 3 月 31 日
天野 祐一	東洋エンジニアリング株式会社 代表取締役社長	平成 27 年 3 月 31 日
武田 道朗	一幸電子工業株式会社 部長	平成 27 年 3 月 31 日
泉 達了	株式会社城南サービス サブリーダー	平成 27 年 3 月 31 日
菊地 千春	太平ビルサービス株式会社 部長	平成 27 年 3 月 31 日
清水 誠一	株式会社協同技術センター 課長	平成 27 年 3 月 31 日
尾沼 亨	株式会社京王設備サービス 課長	平成 27 年 3 月 31 日
千葉 茂	日本工学院専門学校 校長	平成 27 年 3 月 31 日
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成 27 年 3 月 31 日
山野 大星	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ長	平成 27 年 3 月 31 日
渡邊 和之	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ 主任	平成 27 年 3 月 31 日
長須 俊浩	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
本田 堅一	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
内田 寿彦	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
横山 重明	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
三須 健吾	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
知久 雅治	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
佐藤 良純	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
附田 健	日本工学院専門学校 教育・学生支援部係長	平成 27 年 3 月 31 日

(開催日時)

第1回 平成 26 年 8 月 27 日 10:00~10:30、10:40~10:55

第2回 平成 27 年 3 月 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エレクトロニクス通信実験	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の実際を学びます。	(株) サンライズラボ
電子回路製作実習 1	増幅回路や発振器などの設計・製作を行います。	(株) サンライズラボ 有限会社オフィス ケイアンドケイ
電子回路製作実習 2	マイコンを応用した回路の設計・製作を行います。	(株) サンライズラボ 有限会社オフィス ケイアンドケイ
ホームエレクトロニクス実験	ホームシアターや地デジなどの技術を実習します。	(株) サンライズラボ
家電機器修理実習	テレビなど家電製品の故障発見・対応などについて実習します。	(株) サンライズラボ
デジタルテクノロジー実験	デジタルフィルタなど DSP の基礎などデジタル技術を実験します。	有限会社オフィス ケイアンドケイ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名 前	所 属	任 期
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役社長	平成27年3月31日
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事	平成27年3月31日
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役	平成27年3月31日
高橋 修	東京実業高等学校 進路指導副部長	平成27年3月31日
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクショ ンチーフ	平成27年3月31日
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 電子・電気科 電子工学コース/オーディオ家電コース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	30	2	○		
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・後	30	2	○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○		
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○		
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○		
○			テクノロジー基礎2	ものづくり解析などに必要な数学を学びます。	1・後	60	4	○		
○			デジタル回路1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○		
○			電気回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・前	60	4	○		
○			電気回路2	直流回路などの電気回路について学びます。	1・後	60	4	○		
○			電子回路1	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・後	60	4	○		
	○		ビデオ技術	画像や映像の記録、伝送の方法について学びます。	1・前	30	2	○		

	○		オーディオ技術	スピーカーやマイクロホン、アンプなどオーディオ機器について学びます。	1・前	30	2	○		
	○		家電製品技術1	テレビ受像器、地上デジタル、HDD・DVDレコーダなど製品技術を学びます。	1・後	60	4	○		
	○		資格対策講座1	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	1・前	60	4	○		
	○		資格対策講座2	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	1・後	60	4	○		
○			電子工作実習1	オーディオアンプなど簡単な回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・前	60	2			○
○			電子工作実習2	イコライザーアンプなど回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・後	60	2			○
○			プログラミング実習	C言語プログラミングを行います。	1・後	60	2			○
○			エレクトロニクス基礎実験	デジタル回路、パルス回路、アンプなど電子回路の動作を学びます	1・後	60	2			○
○			テクノロジー実習	部品や簡単な回路の動作を実験を通じ学びます。	1・前	60	2			○
○	○		パソコン実習	Windows や Office、インターネット利用上のマナーを学びます。	1・前	60	2			○
		○	インターンシップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1			○
○			キャリアデザイン2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・前	30	2	○		
		○	スポーツ実習2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1			○
		○	英語2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○		
○			電子回路2	発振回路や電源回路、オペアンプを使用した回路など、様々な電子機器の動作について学びます。	2・前	60	4	○		
○			マイクロコンピュータ	マイクロコンピュータのしくみや動作を学びます。	2・後	60	4	○		

○		光エレクトロニクス	光通信や半導体レーザなどについて学びます。	2・後	30	2	○		
○		通信システム1	携帯電話などにも用いられる通信技術を学びます。	2・前	30	2	○		
○		通信システム2	通信技術の応用、実際の通信機器について学びます	2・前	30	2	○		
○		計測技術	電子機器の計測方法、計測器の原理などについて学びます。	2・後	30	2	○		
	○	電子回路設計	増幅回路や発振器などの設計方法を学びます。	2・前	30	2	○		
	○	電子応用技術	カーナビゲーションシステムなど電波応用技術など様々な電子技術の活用方法を学びます。	2・後	60	4	○		
	○	オーディオ・ビデオ機器	ホームシアターなど、デジタル AV 技術を学びます。	2・後	60	4	○		
	○	家電製品技術2	様々な家電製品の技術を学びます。	2・後	60	4	○		
	○	資格対策講座3	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	2・前	30	2	○		
	○	資格対策講座4		2・後	60	4	○		
	○	資格対策特別講座	様々な資格対策を行います。	2・前	30	2	○		
○		エレクトロニクス通信実験	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の実際を学びます。	2・後	30	1			○
	○	電子回路製作実習	増幅回路や発振器などの設計・製作を行います。	2・前	60	2			○
	○	デジタルテクノロジー実験	デジタルフィルタなど DSP の基礎などのデジタル技術を実験します。	2・後	60	2			○
	○	家電機器修理実習	テレビなど家電製品の故障発見・対応などについて実習します。	2・前	30	1			○
	○	ホームエレクトロニクス実験	ホームシアターや地デジなどの技術を実習します。	2・後	60	2			○

	○		卒業製作	ものづくりを通じ2年間で習得した技術の集大成します。	2・後	120	4			○
		○	インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・通	30	1			○
合計				46 科目	2190 単位時間(118 単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本工学院専門学校	昭和51年7月1日	千葉 茂	〒144-8555 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 片柳学園	昭和25年3月1日	片柳 鴻	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111			
目 的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身につけ、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電気工事コースでは、経済産業省による第二種電気工事士および総務省による工事担当者DD第二種の国家試験免除認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、現代の設計や施工分野で活躍するための人材を育成すること。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電子・電気科 (電気工事コース)	2年 (昼)	2070単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学大臣告示第153号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1350単位時間 (又は90単位)	単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	930単位時間 (又は31単位)	—単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280人の内数		105人	2人	7人	9人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 成績評価の基準 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定	
長期休み	■学年始め： 4月1日 ■夏 季： 7月21日～8月31日 ■冬 季： 12月23日～翌年1月8日 ■春 季： 3月18日～3月31日 ■学 年 末： 3月31日			卒業・進級条件	進級条件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること 卒業条件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること	

生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが、数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 若年者ものづくり競技大会 ■サークル活動 (有)・無)
主な就職先	■主な就職先、業界 東京地下鉄(株)、(株)関電工、日本電設工業(株) ■就職率 98.1% ■卒業者に占める就職者の割合 98.1% ■その他 (任意)	主な資格・検定	第1種電気工事士、第1・2級陸上特殊無線技士、2級ボイラー技士、第2・3種冷凍機械責任者、蓄電池設備整備資格者
中途退学の現状	■中途退学者 17名 ■中退率 4.8% 平成24年4月1日在学者 347名 (平成24年4月入学者を含む) 平成25年3月31日在学者 330名 (平成25年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査してカリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 8 月 27 日現在

名 前	所 属	任期
菊地 弘光	一般財団法人家電製品協会	平成 27 年 3 月 31 日
天野 祐一	東洋エンジニアリング株式会社 代表取締役社長	平成 27 年 3 月 31 日
武田 道朗	一幸電子工業株式会社 部長	平成 27 年 3 月 31 日
泉 達了	株式会社城南サービス サブリーダー	平成 27 年 3 月 31 日
菊地 千春	太平ビルサービス株式会社 部長	平成 27 年 3 月 31 日
清水 誠一	株式会社協同技術センター 課長	平成 27 年 3 月 31 日
尾沼 亨	株式会社京王設備サービス 課長	平成 27 年 3 月 31 日
千葉 茂	日本工学院専門学校 校長	平成 27 年 3 月 31 日
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成 27 年 3 月 31 日
山野 大星	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ長	平成 27 年 3 月 31 日
渡邊 和之	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ 主任	平成 27 年 3 月 31 日
長須 俊浩	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
本田 堅一	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
内田 寿彦	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
横山 重明	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
三須 健吾	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
知久 雅治	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
佐藤 良純	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
附田 健	日本工学院専門学校 教育・学生支援部係長	平成 27 年 3 月 31 日

(開催日時)

第1回 平成 26 年 8 月 27 日 10:00~10:30、12:00~12:15

第2回 平成 27 年 3 月 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電気工事実習 1	電気工事士として必要な、各種配線工事の基礎について実習します。	(有) 常盤電気
電気工事実習 2	光接続技術や電気配線工事などについて応用について実習します	(有) 常盤電気
テクノロジー実習	電子・電気に関する基礎技術を実習を通して学びます。	岡田電気安全コンサルタント事務所
電気工事実習 4	光接続技術や電気配線工事などについて実習します	岡田電気安全コンサルタント事務所
第一種電気工事士実技	第一種電気工事士に必要な電気配線工事に関する技術を実習します。	岡田電気安全コンサルタント事務所
電気工事実習 3	光接続技術や電気配線工事などについて実習します	(有) 若島電気商会
屋内配線 CAD	屋内電気配線を中心に情報ネットワーク配線について CAD ソフトを利用して実習します。	(有) 若島電気商会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名 前	所 属	任 期
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役社長	平成27年3月31日
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事	平成27年3月31日
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役	平成27年3月31日
高橋 修	東京実業高等学校 進路指導副部長	平成27年3月31日
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ	平成27年3月31日
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 電子・電気科 電気工事コース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1 後	30	2	○		
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1 前	30	2	○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1 後	30	1	○		
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1 前	30	2	○		
○			サイエンス	サイエンスの知識としての物体の運動や力などについて学びます。	1 前	60	4	○		
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1 前	60	4	○		
○			電気施工方法1	電気配線の施工方法の基礎知識を学びます。	1 後	60	4	○		
○			デジタル回路1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1 後	30	2	○		
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1 前	60	4	○		
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1 前	60	4	○		
○			電気機器1	電気機器の仕組みや動作原理、構造などについて学びます。	1 後	60	4	○		
○			電気工事材料・工具	電気工事における材料や器具、工具について学びます。	1 後	30	2	○		

○			配電理論・配線設計	電気が家庭などに供給されるまでの仕組みや配線の設計などを学びます。	1 後	30	2	○		
		○	資格対策講座 1	第一種電気工事士などの国家試験対策講座を実施します。	1 前	30	2	○		
		○	資格対策講座 2	電気・通信などの国家試験対策講座を実施します。	1 後	30	2	○		
○			電気施工方法 2	電気配線の施工方法の応用知識を学びます。	1 後	15	1	○		
○			テクノロジー実習	電子・電気に関する基礎技術を実習を通して学びます。	1 前	60	2			○
○			電気法令	電気工事法や電気工事関係法令などを学習します。	1 前	60	4	○		
○			電気工事検査法	電気配線方法や電気工作物の検査の方法などについて学びます。	1 後	15	1	○		
○			屋内電気配線図	配線図記号から各種工事方法による設計について学びます。	1 後	60	4	○		
	○		施工管理技術	電気工事施工計画の作成や安全管理などについて学びます。	2 前	60	4	○		
		○	インターンシップ 1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1 後	30	1			○
○			キャリアデザイン 2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2 前	30	2	○		
		○	スポーツ実習 2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2 後	30	1		○	
		○	英語 2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2 前	30	2		○	
○			電気工事实習 1	電気工事士として必要な各種配線工事の基礎について実習します。	2 前	210	7			○
○			電気工事实習 2	電気工事士として必要な各種配線工事の応用について実習します。	2 前	300	10			○
○			高圧電気技術 1	自家用電気工作物の受電設備などについて学びます。	2 前	60	4	○		
○			高圧電気技術 2	自家用電気工作物の電気設備全般などについて学びます。	2 前	90	6	○		

○		通信システム1	電気通信の基礎から通信品質や変調方式、光ファイバなどについて学びます。	2前	60	4	○		
○		通信システム2	伝送理論の基礎から電気通信回線の構成や電気通信技術などについて学びます。	2前	30	2	○		
○		積算	電気配線の設計・積算から見積書の発行などについて学びます。	2後	60	4	○		
○		IP基礎	インターネットで使われているIP技術の基礎を学びます。	2後	30	2	○		
○		セキュリティ基礎	ウイルス対策など、パソコンを安全に利用するために必要なセキュリティ技術を学びます。	2後	30	2	○		
○		ネットワーク基礎	LAN配線などのネットワーク技術の基礎を学びます。	2後	30	2	○		
○		ネットワーク接続	LAN配線や通信ネットワーク接続技術などについて学びます。	2後	30	2	○		
○		通信法規	電気通信事業法などの法令について学びます。	2後	60	4	○		
○		ネットワーク実習	LAN配線やネットワーク設備に関する実習を行ないます。	2後	30	1			○
○		第一種電気工事士実技	第一種電気工事士に必要な電気配線工事に関する技術を実習します。	2前	60	2			○
○		電気工事実習3	光接続技術や電気配線工事などについて実習します。	2前	60	2			○
○		電気工事実習4	電気通信配線工事などについて実習します。	2後	60	2			○
	○	屋内電気配線CAD	屋内電気配線を中心に情報ネットワーク配線についてCADソフトを利用して実習します。	2後	60	2			○
		○	インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2通	30	1		○
合計				43 科目		2280 単位時間(121 単位)			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日	千葉 茂		〒144-8555 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身につけ、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電気工学コースでは、経済産業省による第二種電気主任技術者の認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、社会人として必要な教養を身につけ、勤労の責任を重んずる。心身ともに健全な電気技術者の養成を目的としている。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電子・電気科 (電気工学コース)	2年 (昼)	1770単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学 大臣告示第153号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1500単位時間 (又は100単位)	単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	600単位時間 (又は20単位)	—単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
280人の内数		127人		3人	5人	8人
学期制度	■前 期：4月1日～9月30日 ■後 期：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 成績評価の基準 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定	
長期休み	■学年始め： 4月1日 ■夏 季： 7月21日～8月31日 ■冬 季： 12月23日～翌年1月8日 ■春 季： 3月18日～3月31日 ■学 年 末： 3月31日			卒業・進級条件	進級条件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること 卒業条件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること	

生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが、数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 若年者ものづくり競技大会 ■サークル活動 (有)・無)
主な就職先	■主な就職先、業界 I H I 運搬機械(株)、京急鉄道施設(株)、首都高電気メンテナンス(株) ■就職率 96.6% ■卒業者に占める就職者の割合 96.6% ■その他 (任意)	主な資格・検定	第1種電気工事士、第1・2級陸上特殊無線技士、2級ボイラー技士、危険物取扱者、第1・2種消防設備点検資格者
中途退学の現状	■中途退学者 17名 ■中退率 4.8% 平成24年4月1日在学者 347名 (平成24年4月入学者を含む) 平成25年3月31日在学者 330名 (平成25年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査してカリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 8 月 27 日現在

名 前	所 属	任 期
菊地 弘光	一般財団法人家電製品協会	平成 27 年 3 月 31 日
天野 祐一	東洋エンジニアリング株式会社 代表取締役社長	平成 27 年 3 月 31 日
武田 道朗	一幸電子工業株式会社 部長	平成 27 年 3 月 31 日
泉 達了	株式会社城南サービス サブリーダー	平成 27 年 3 月 31 日
菊地 千春	太平ビルサービス株式会社 部長	平成 27 年 3 月 31 日
清水 誠一	株式会社協同技術センター 課長	平成 27 年 3 月 31 日
尾沼 亨	株式会社京王設備サービス 課長	平成 27 年 3 月 31 日
千葉 茂	日本工学院専門学校 校長	平成 27 年 3 月 31 日
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成 27 年 3 月 31 日
山野 大星	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ長	平成 27 年 3 月 31 日
渡邊 和之	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ 主任	平成 27 年 3 月 31 日
長須 俊浩	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
本田 堅一	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
内田 寿彦	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
横山 重明	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
三須 健吾	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
知久 雅治	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
佐藤 良純	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
附田 健	日本工学院専門学校 教育・学生支援部係長	平成 27 年 3 月 31 日

(開催日時)

第1回 平成 26 年 8 月 27 日 10:00~10:30、11:20~11:35

第2回 平成 27 年 3 月 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電気実習 1	屋内電気配線などの実習を行います。	(株)城南サービス
電気応用実験 2	発電機や自動制御システムなどについて実験します。	(株)城南サービス
電気実習 2	屋内電気配線などの実習を行います。	(株)城南サービス
電気製図	電気機器や配線図などを製図します。	(株)城南サービス
テクノロジー実習	電子・電気系の基礎技術に関する実験を行います。	(有)カド照明設計研究所
基礎実験	電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する実験を行います。	(有)カド照明設計研究所
電気応用実験 1	モーターや送電システム、照明機器などについて実験します。	(有)カド照明設計研究所

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名 前	所 属	任 期
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役社長	平成27年3月31日
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事	平成27年3月31日
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役	平成27年3月31日
高橋 修	東京実業高等学校 進路指導副部長	平成27年3月31日
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクショ ンチーフ	平成27年3月31日
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 電子・電気科 電気工学コース) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ビジネススキル	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○		
○			キャリアデザイン 1	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○		
		○	スポーツ実習 1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○
		○	英語 1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○		
○			テクノロジー基礎 1	サイエンスの知識としての物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○		
○			サイエンス	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○		
○			電気回路 1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・前	60	4	○		
○			電気回路 2	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・後	60	4	○		
○			電子回路 1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○		
○			電磁気 1	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・前	60	4	○		
○			電磁気 2	電界や磁界などについて学びます。	1・後	60	4	○		
○			電磁気測定 1	電磁誘導、インダクタンス、電磁波について学びます。	1・前	60	4	○		

○		電磁気測定 2	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測定法などの基礎を学びます。	1・後	30	2	○		
○		電気機器 1	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測定法などの応用を学びます。	1・前	60	4	○		
○		モーターテクノロジー	電気機器の仕組みや動作原理、構造などについて学びます。	1・後	30	2	○		
○		シーケンス 入門	モーターの動作原理や種類などの基礎技術から最新技術までを学びます。	1・後	30	2	○		
○		デジタル回路 1	信号機などに利用されている自動制御の基礎知識を学びます。	1・後	30	2	○		
	○	資格対策講座 1	第二種電気工事士、2級ボイラー技士など現場で役立つ実用資格を学びます。	1・前	30	2	○		
	○	資格対策講座 2	危険物取扱者など現場で役立つ実用資格を学びます。	1・後	30	2	○		
○		テクノロジー 一実習	電子・電気系の基礎技術に関する実験を行います。	1・前	60	2			○
○		基礎実験	電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する実験を行います。	1・後	60	2			○
○		電気実習 1	屋内電気配線などの実習を行います。	1・後	60	2			○
		○	インターン シップ 1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1		○
○		キャリアデザイン 2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・前	30	2	○		
		○	スポーツ実習 2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1		○
		○	英語 2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○	
○		発電電技術	水力発電や火力発電から新エネルギーまでを学びます。	2・前	60	4	○		
○		電気機器 2	モーターなどのパワーエレクトロニクスについて学びます。	2・前	30	2	○		
○		電気法規	電気設備技術基準や電気事業法など電気に関する法律を学びます。	2・前	30	2	○		

○		電気施設管理	電気施設を管理する上で必要な電力需給などについて学びます。	2・後	30	2	○		
○		シーケンス応用	自動制御装置の設計法などについて学びます。	2・前	30	2	○		
○		電気材料	絶縁材料や導電材料などについて学びます。	2・前	30	2	○		
○		送配電テクノロジー	電気が送られる送電や配電などについて学びます。	2・後	60	4	○		
○		通信システム1	電気通信の基礎から通信品質や変調方式、光ファイバなどについて学びます。	2・前	30	2	○		
○		通信システム2	データ通信システムやオンライン処理、ネットワーク技術などについて学びます。	2・前	30	2	○		
	○	照明デザイン	暮らしに必要な照明について、光源や照明の設計などについて学びます。	2・後	60	4	○		
	○	鉄道技術	鉄道技術として、電車の仕組みや運行システムなどについて学びます。	2・前	30	2	○		
	○	高圧電気技術	放電現象や落雷など高圧電気を安全に扱う技術について学びます。	2・後	30	2	○		
	○	電気機器設計	電気機器である変圧器やモーターなどについて、その設計法を学びます。	2・後	30	2	○		
	○	電気設備	受電設備や空調システムなどを学びます。	2・後	30	2	○		
	○	電気応用	電池や蓄電池などについて学びます。	2・後	30	2	○		
	○	資格対策講座3	冷凍機械責任者など現場で役立つ実用資格を学びます。	2・前	60	4	○		
	○	資格対策講座4	消防設備士など現場で役立つ実用資格を学びます。	2・後	30	2	○		
○		電気実習2	屋内電気配線などの実習を行います。	2・前	60	2			○
○		電気応用実験1	モーターや送電システム、照明機器などについて実験します。	2・前	60	2			○
○		電気応用実験2	発電機や自動制御システムなどについて実験します。	2・後	120	4			○

○			電気製図	電気機器や配線図などを製図します。	2・後	60	2			○
		○	インターン シップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力の スキルを高めます。	2・通	30	1			○
合計					48 科目	2100 時間 (120 単位)				